

8 性感染症 (STD)

STDの感染のピークは、女性が20代前半、男性が20代後半です。予防法など正しい知識を入手し、自分や相手の身を守ることを勧めます。

1 STDとは

- STD (Sexually Transmitted Diseases) とは、性感染症のことをいい、主に性行為によってウイルスや細菌が感染して起きる病気です。その種類は多く、症状もさまざまです。STDの患者数は年間60万人にのぼり、年々増加傾向にあります。もはや、性感染症は特定の人にしかかからない特別な病気ではありません。
- しかし、STDに関しては、誤った情報が流れやすく、正しい情報が伝わりにくいという状況でもあります。予防方法など病気に対する正しい知識を積極的に入手し、自分や相手の身を守ることを勧めます。

■ 症状と予防

症 状	<ul style="list-style-type: none">●男性の場合は、排尿時に痛みを感じたり、うみが出たりします。女性の場合はおりものの量が増えたり、状態が変わったりします。それ以外にも皮膚にイボやしこりができるなど、さまざまな症状が出ますが、最近では性器クラミジア感染症など自覚症状の出にくい病気も増えてきています。●ほとんどの場合、STDは治療により完治しますが（ただしHIVは現在のところ完全に治療する方法はありません）、放置しておくとも命にかかわる場合もありますので、感染の可能性があるときは恥ずかしがらず、すぐに専門医に相談してください。●いずれにせよ、おかしいと思ったら早く病院へ行って治療することが大事です。
予 防	<ul style="list-style-type: none">●一番確実な予防法は性交渉をしないということですが、将来家庭を築くうえで現実的ではありませんので、パートナーを限定する（2人とも感染していないということが絶対条件ですが）ことです。●また、コンドームの使用も有効な予防方法ではありますが、100%確実とは言い切れません。

2 HIVとAIDS

- HIVとは、Human Immunodeficiency Virus（ヒト免疫不全ウイルス）のことで、ヒトの体をさまざまな細菌、カビやウイルスなどの病原体から守る（このことを"免疫"といいます）のに大変重要な細胞である、Tリンパ球やマクロファージ（CD4陽性細胞）などに感染するウイルスです。
- HIVがTリンパ球やマクロファージ（CD4陽性細胞）などに感染した結果、これらの細胞の中でHIVが増殖します。このため、免疫に大切なこれらの細胞が体の中から徐々に減っていき、普段は感染しない病原体にも感染しやすくなり、さまざまな病気を発症します。この病気の状態をAIDS（Acquired Immuno-Deficiency Syndrome、後天性免疫不全症候群）と言います。
- 2017年（平成29年）末で、世界で3,690万人がHIVに感染しています。
- 日本での2017年（平成29年）の新たなHIV感染者数は976件、AIDS患者数は413件、合計で1,389件となっています。累計では、HIV感染者数は19,896件、AIDS患者数は8,936件、合計で28,832件、特に20代、30代の若者に感染が広がっています。
- 近年、治療法の発達により、完全なウイルスの排除はできないものの、発症をおさえる薬は開発されています。いずれにしても早期発見、早期治療がとても大切です。